



## 明日、第51回卒業式

### 1、2年生は、卒業生を心で見送ろう！



明日3月11日(金)は、本校の第51回の卒業式です。

3年生のみなさん、中学校生活最後のかけがえのない一日を、一人残らずみんなが「最高の一日だった！」「これから頑張る気持ちが高まった！」と言えるものにしてください。期待しています。

1、2年生はこの1年間、最高学年として中宮中学校をリードし、体育祭や文化祭などの学校行事や生徒会活動、部活動など、様々な面で世話になった先輩たちが卒業していく日です。例年であれば、在校生の代表やブラスバンド部が会場内で、クラブによっては花道での退場の場面で、卒業生を見送るのですが、昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、在校生は明日、卒業生がいる時間帯に学校に来ることはできません。遊び歩いたりせずに、各家庭で3年生を、心の中で見送ってください。

3年生が卒業するといよいよ、新3年生、新2年生に進級し、学校のリーダー、先輩として学校をつくっていくこととなります。明日は、そんな新しいステージへの節目の日でもあります。大切に過ごしましょう。

※明日、在校生は片づけをするバレエ部を除き、14時まで校内に入れません。

## 2011.3.11

### 「東日本大震災を忘れない」

今から11年前、3月11日午後2時46分 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0、最大震度7の大地震と、その後各地を襲った津波によって、東日本各

地では多くの方が命を失い、甚大な被害を受けました。死者19,747名、行方不明者2,556名、負傷者6,242名の人的な被害に加えて、家屋の損壊は一部破損を含めると100万棟を超えており、被災者の中には今も故郷に帰ることができず、避難先での生活を続けていたり、生活を支える産業など生活の再建がなかなか進まなかったりするなど、震災は今なお被災者の方々の心と生活に重くのしかかっています。

また、地震後の津波によって電源喪失を起こした福島第一原子力発電所では、メルトダウン(炉心溶融)が起き、大きな水蒸気爆発で建物が損壊して大量の放射能が、大気中に拡散されました。放射能に汚染された地域の中には、今も危険なために住民が我が家に戻ることができない地域があります。壊れた発電所の処理(廃炉)は、あまりに強い放射能に対応できないため、11年たった今もほとんど進めることができていません。そんな中、溶けた核燃料を冷却するために発生する汚染された冷却水の処理を巡っても、その安全性を不安視する声が上がっています。

東日本大震災は、終わっていません。今も続いているのです。けれど、私たちは遠く離れた大阪にいて、テレビや新聞報道でも少しずつ扱いが小さくなってしまっていたり、私たちの意識が変化していたりして、東日本大震災のことを、忘れてしまってはいないでしょうか。明日は3月11日 大地震・津波発生から11年めの日です。自分のこととして、震災のことを学びなおしましょう。そして、次の3つのことを実行して欲しいと思います。

#### 1. 命と安全を守る防災について再確認して、次の災害に備えること。

震災は、防災の大切さについて数多くの教訓を私たちに与えています。しっかり学び、命と安全を守ろう。

#### 2. 被災地を支援するという気持ちと行動をすること。

今なお、震災の中で生活している人たちが、少しでも元気になること、支援する行動を考えて実行しよう。

#### 3. 今、生きているということを大切にすること。

今、私たちは震災で命を失っただれかが、「生きたかった今日」を生きています。明日も、大切に生きよう。



津波の様子(出展:岩手県 久慈市)